

<第52号>

# 敦賀市議会だより

・発行 敦賀市議会 (<http://WWW.ton21.ne.jp/gikai>) ・住所 敦賀市中央町2丁目1-1 ・電話 0770-22-8157 ・編集 議会だより編集委員会



1月21日、今年の豊漁、豊作を占う、国指定重要無形民俗文化財の「敦賀西町の綱引き」が行われました。JR直流化開業の効果もあり、例年を上回る市民や観光客が、東の夷子方、西の大黒方に分かれ、合図とともに一齐に引き合いました。

今年も大黒方に軍配が上がり、3年連続で、豊作と出ました。

## 12月 定例会

主な掲載内容：

議案の概要……p.2

決算認定特別委員会……p.11

審議結果一覧……p.3

委員会の動き……p.12

一般質問……p.4～p.10

# 議案の概要

平成18年第5回定例会は12月6日に開会し、12月19日に閉会（会期14日間）しました。

上程された案件のうち、平成18年度各会計補正予算案12件、条例案2件、一般議案9件、人事議案2件、議員提出議案5件については、いずれも原案どおり可決し、請願については不採択としました。また、9月定例会において継続審議となっていた決算議案3件については、いずれも認定しました。

主な議案の内容については下記のとおり、審議結果については3ページのとおりです。

## 予算

■平成十八年度一般、特別、企業各会計補正予算

職員の人事異動による人件費の調整を中心に、統一地方選挙の準備経費、入園希望者が増加している黒河保育園の増築工事費、全私立、公立保育園などに自動体外式除細動器を配置するための費用など一般、特別、企業会計、合わせて一億五三十八万五千円の補正予算案が、いずれも原案どおり可決しました。

その結果、補正後の予算の総額は、  
一般会計  
二五五億三七〇四万一千円  
特別会計  
二二二億三五二一万三千円  
企業会計  
九一億九四〇三万七千円  
合計  
五五九億六六一九万一千円  
となりました。



AED (自動体外式除細動器)

## 条例

■敦賀市障害者医療費の助成に関する条例の一部改正の件

児童福祉法の改正に伴い、医療費助成の対象を肢体不自由児施設等入所者に拡大するための条例改正案が、原案どおり可決しました。

■敦賀市病院事業の設置等に関する条例の一部改正の件

市立敦賀病院の増改築に伴い、病床数を増床（三百四十八床から三百七十三床）するための条例改正案が、原案どおり可決しました。

## 一般議案

■水産市場用地造成工事請負契約の件

水産市場を新築、拡大するに当たっての用地造成工事請負契約に係る議案が、原案どおり可決しました。

■福井県後期高齢者医療広域連合の設立の件

医療制度改革関連法に基づき、平成十九年二月一日

## 議員提出議案

■敦賀市議会会議規則の一部改正の件

地方自治法の改正に伴い、条文を整理するための会議規則改正案が、原案どおり可決しました。

■敦賀市農業委員会委員推薦の件

農業委員会委員の任期満了に伴い、籠一郎議員、中川賢一議員、稲口美恵子氏の三人を農業委員会委員に推薦しました。

## 請願

■最低保障年金制度の創設を求める意見書の提出について

全額国庫負担とする最低保障年金制度の創設を求める請願については、年金制度は世世代代扶助の精神から成り立つものであり、全額国庫負担とすることは適当ではない、基礎年金における国庫負担の引き上げは、段階的に行われていくなどの理由から不採択となりました。

## 人事議案

■敦賀市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件

任期満了に伴い、敦賀市固定資産評価審査委員会委員に、田中信幸氏を選任（再任）することに同意しました。

■敦賀市吏員懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求める件

堂前一幸委員の辞任に伴い、敦賀市吏員懲戒審査委員会委員に、増田一司議員を任命することに同意しました。

\*1 後期高齢者医療

75歳以上の後期高齢者全員が加入する公的医療保険制度。平成20年度から独立型の健康保険としてスタートする。財政運営は、全市町村が加入する都道府県単位の広域連合が担当する。

から県内の全市町で後期高齢者医療（\*1）に関する事務の共同処理を行う福井県後期高齢者医療広域連合の設立に係る議案が、原案どおり可決しました。

# 審議結果一覧

## 市長提出議案

件名	結果
平成18年度敦賀市一般会計補正予算(第3号)	可決
平成18年度敦賀市簡易水道特別会計補正予算(第2号)	可決
平成18年度敦賀市国民健康保険(事業勘定の部及び施設勘定の部)特別会計補正予算(第2号)	可決
平成18年度敦賀市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
平成18年度敦賀市地方卸売市場特別会計補正予算(第1号)	可決
平成18年度敦賀市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決
平成18年度敦賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
平成18年度敦賀市介護保険(保険事業勘定の部)特別会計補正予算(第3号)	可決
平成18年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	可決
平成18年度敦賀きらめき温泉特別会計補正予算(第1号)	可決
平成18年度市立敦賀病院事業会計補正予算(第1号)	可決
平成18年度敦賀市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
敦賀市障害者医療費の助成に関する条例の一部改正の件	可決
敦賀市病院事業の設置等に関する条例の一部改正の件	可決
福井県市町村非常勤職員公務災害補償組合の解散の件	可決

件名	結果
福井県市町村非常勤職員公務災害補償組合の解散に伴う財産処分	可決
福井県自治会館組合規約の変更の件	可決
福井県市町村交通災害共済組合の解散の件	可決
福井県市町村交通災害共済組合の解散に伴う財産処分	可決
福井県市町総合事務組合への加入の件	可決
福井県後期高齢者医療広域連合の設立の件	可決
字の区域の変更の件	可決
水産市場用地造成工事請負契約の件	可決
敦賀市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件	同意
敦賀市吏員懲戒審査委員会委員の任命につき同意を求める件	同意
平成17年度敦賀市歳入歳出決算認定の件	認定
平成17年度市立敦賀病院事業決算認定の件	認定
平成17年度敦賀市水道事業決算認定の件	認定
専決処分事項の報告の件(損害賠償の額の決定及び和解)	報告のみ
専決処分事項の報告の件(市営住宅の使用料等の支払請求に係る訴えの提起)	報告のみ

## 議員提出議案

件名	結果
敦賀市議会会議規則の一部改正の件	可決
敦賀市農業委員会委員推薦の件	可決
敦賀市農業委員会委員推薦の件	可決

件名	結果
敦賀市農業委員会委員推薦の件	可決
議員派遣の件	可決

## 請願

件名	結果
最低保障年金制度の創設を求める意見書の提出について	不採択

12月6日

**議会日誌**  
(平成18年第5回定例会)

	11日	12日	13日	14日	19日
<p>▼開会</p> <p>▼本会議</p> <p>▼会期の決定</p> <p>▼会議録署名議員の指名</p> <p>▼敦賀市議会会議規則の一部改正の件(説明・質疑・採決)</p> <p>▼市長提案理由概要説明</p> <p>▼専決処分事項の報告(説明・質疑)</p> <p>▼予算、条例、一般議案(説明・質疑)</p>	<p>▼本会議</p> <p>▼一般質問</p>	<p>▼本会議</p> <p>▼一般質問</p> <p>▼予算、条例、一般議案、請願(委員会付託)</p>	<p>▼委員会</p> <p>▼総務、産業経済、文教民生、建設の各常任委員会</p>	<p>▼委員会</p> <p>▼原子力発電所、環境保全対策の各特別委員会</p>	<p>▼本会議</p> <p>▼議員提出人事議案(採決)</p> <p>▼市長提出人事議案(説明・採決)</p> <p>▼予算、条例、一般議案(委員会審査結果報告・質疑・採決)</p> <p>▼決算議案(委員会審査結果報告・質疑・採決)</p> <p>▼請願・陳情(委員会審査結果報告・質疑・採決)</p> <p>▼特別委員会中間報告(質疑)</p> <p>▼議員派遣の件</p> <p>▼閉会</p>

# 一般質問

## 行政

12月11日、12日の両日、山本貴美子、増田一司、岡 武彦、平川幹夫、美尾谷幸雄、小谷康文、小川三郎、北條 正、高野新一、常岡大三郎、今大地晴美、上原修一、籠 一郎、岡本正治、河端 満、中川賢一、和泉 明、木下 章の18議員が一般質問を行いました。質問項目は8、9頁の一覧表のとおりです。そのうち、1人2項目を限度に、要約して掲載しています。

**\*1 第4次行政改革**  
 多様化する行政ニーズに的確に対応できる体制への変革を進めるため、昨年3月に第4次行政改革大綱を策定。  
 基本方針として民間活力の導入、組織及び財政の効率的な運営、電子自治体の構築、公正の確保と透明性の向上をあげている。

### 第四次行政改革と市民の暮らしへの影響について

山本貴美子

**問** 第四次行政改革（\*1）により、下水道料

金など暮らしに係る各種料金 の値上げ、市民福祉会館の有料化など、住民負担増の計画が進められている。市民が行政の主役と言うのであれば、強引に進めるべきではないと考えるが、どうか。

**答** 行政改革は、時代に即した市民ニーズを的確にとらえ、市民との協働体制のもとで実現するものであり、計画に固執することなく、情勢が変われば柔軟に対応していきたい。

### 自衛隊の敦賀への誘致について

岡 武彦

**問** 過去二回、議会で質問しているが、研究する、検討するとの答弁のみで全く誠意がなく、危機感もない。今までの誘致に関する活動結果及び誘致に対する予算について伺う。

**答** 陸上自衛隊の定員削減や駐屯地廃止が計画されている中、具体的な誘致活動は行っていないが、昨年三月、県議会で嶺南における自衛隊誘致の請願が採択されたことを踏まえて、嶺南全体で議論が進めばと考えている。

また、予算については、議論の結果、必要性が生じれば計上したい。

### 入札について

小川三郎

**問** 当市の工事等入札率は、平均で約九五%と高い。他県には、八〇%から七〇%台の自治体もあることから、入札予定価格を実勢価格で決める、歩切りする、すべてを一般

競争入札にするなど工夫すべきではないか。

**答** すべて一般競争入札とすれば、入札率を低く抑えることができるかもしれないが、地元を育成することも必要であると考ええる。

今後、適正な価格で良質な公共工事が行われ、市民が求める公正で透明性、公平性、競争性が確保されるよう制度の見直しなどに取り組んでいきたい。

### 法定外税について

常岡大三郎

**問** 地方分権一括法の成立により法定外普通税、目的税が許可制から同意制になった。環境負荷を抑制する環境税や使用済み核燃料税（\*2）など、各地で法定外税の創設に取り組んでいるが、本市では、どのように検討されるのか。

**答** 新設に当たっては財政力などとの関係もあるため、直ちに導入するには難しい点もあるが、地方分権を踏まえて、安定

的な財源確保を図るため、今後、十分に研究していきたい。

**\*2 使用済み核燃料税**  
 保管している使用済み核燃料に対して、課税するもの。  
 新潟県柏崎市では、使用済み核燃料の重量に対して、鹿児島県薩摩川内市では、使用済み核燃料の数量に対して課税している。

### 選挙ポスターの公費負担の見直しについて

今大地晴美

**問** 選挙公営に関する条例で定められているポスター代、ガソリン代などの公費負担の上限額は高過ぎる。ポスター代の企画費及び印刷代の引き下げ、ガソリン代の走行距離分の実費請求など見直しを求める。

**答** ガソリン代を節約しながら選挙運動を行うことは、難しい点もあるが、なるべく安く上げればと考える。

議会の中でも議論していただければありがたいが、一度実態を調査し、適正な額について研究していきたい。



### 敦賀市の財政について

岡本 正治

**問** 行政コスト計算書によると、平成十五年から十七年の三年間で約三十億円の赤字となつていますが、今後の推移は。

**答** また、基金のうち、一般財源化できるもの、条例の変更などにより一般財源化できるもの、それぞれの額は。

**答** 固定資産税の減収、福祉関係経費の増加などにより、市の財政状況は厳しくなると予想されるが、行政改革を進めることにより合理化を進め、健全な財政運営ができると考えている。

基金については、一般財源として使用できる財政調整基金が約十六億四千万円。

また、目的外に使うには条例を廃止する必要がある。その他の基金が、合わせて約百三億六百万円となつている。

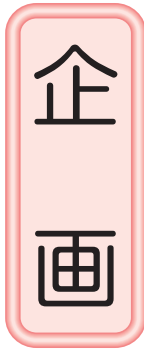
### 中央地区の新設について

和泉 明

**問** 市内十地区のうち、同一の小中学校区単位で地区が形成されていないのは、中央小学校区だけである。子供会育成、見守り隊などの運営等を考えると、新たな地区として中央地区を新設すべきではないか。

**答** 行政主導で無理に行うことはできないため、歴史的経緯や住民の意識を考慮し、関係団体が十分協議を行う必要があると考える。

また、新設に関する議論が開始されるよう、区長連合会にも話をもちかけていきたい。



### JR直流化開業後の課題について

和泉 明

**問** 念願の新快速電車が敦賀駅まで乗り入れたが、課題は多い。観光客に対するハード、ソフトの受け皿整備、利便性向上

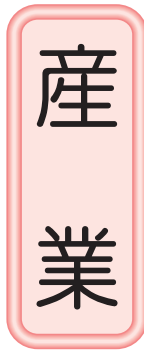
などに対し、今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 「おもい、おもわれ、おもてなし」の定着と、おもてなし大使がさらに活躍できるような方策を関係団体と協議するとともに、遊教塾事業、ウォーキングのモデルコース作成などに取り組んでいきたい。

また、利便性の高いダイヤとなるようJRへ要望も行っていく。



JR湖西線・北陸本線の直流化開業



### 中心市街地の活性化について

増田 一司

**問** 国は、まちづくり三法を改正して大型

商業施設などの郊外立地を抑制し、コンパクトな街を目指す都市政策に方針転換した。市長は、衰退著しい中心商店街の現状をどう考え、今後、活性化に向けてどのような知恵を発揮していくのか。

**答** 何でも売っている量販店へ足が向いてしまうのは、社会の進展がもたらした一つの自然な流れと考えるが、市としても、本年度中に中心市街地活性化基本計画の策定を目指しており、まちづくり三法による協議会を設立し、中心市街地活性化に取り組んでいく。

### 団塊世代に対する市の施策について

平川 幹夫

**問** 地方行財政調査会が自治体に調査を行った結果、都道府県の九割超、区、市の四分の三が、団塊世代の大量退職を意識して施策を考えていると回答している。当市も重要施策として取り組むべきではないか。

**答** 現在、高齢者の就職支援対策として、高齢者職業相談室の運営支援を行っている。

今後も、市民活動支援室やシルバー人材センターでの就労支援などを通じ、団塊世代の方々が、地域の中で貢献できるような支援策を講じていきたい。

### 観光振興策と遊教塾について

美尾谷 幸雄

**問** 今まで行われてきた遊教塾の参加者は、ほぼ日帰りの方ばかりである。敦賀の海、山などの自然、食といった豊富な素材を生かし、宿泊を取り入れた塾の運営を行うべきではないか。

**答** 宿泊を取り入れることは重要であると考えているが、授業料が上がりがり、個人の負担額も変わってくるため、関係組合の方々とタイアップしながら、宿泊コースとして検討していきたい。



### 港町敦賀をロシアとの 交易の拠点とすること について

小川三郎

**問** 敦賀は、港町として大陸と交易を行うべきである。ナホトカに敦賀の商館を、敦賀にロシア人による市場をそれぞれ置き、相互に物と人の交流を促進すべき。そのために留学生を相互交換し、人材の育成をしてはどうか。

**答** 経済、文化、スポーツなど多方面にわたる交流を行い、人材育成などにも努めていきたい。また、欧亜国際連絡列車（\*3）をイベントとして再現したり、ナホトカ、ウラジオストクとの定期的な航路についても将来的な課題として研究していきたい。

### \*3 欧亜国際連絡列車

明治45年、新橋-金ヶ崎間に直通列車が走ることにより、敦賀-ウラジオストク航路、シベリア鉄道を経由して、東京からヨーロッパ諸国に直結された国際連絡便。敦賀は一躍、交通の要衝として位置づけられた。



### 景観作物の植栽について

中川賢一

**問** JR北陸線・湖西線直流化開業の記念すべき年に、花の里づくり事業として、国道や鉄道沿線の遊休農地と西福寺近くの休耕田にコスモスを植栽し、大好評であった。今後の事業の継続、拡大についてはどう考えているか。

**答** 来年度以降は、原地区において、今年度並みのコスモスの植栽、またコスモス祭りを、遊藝塾など観光部門と連携しながら行う方向で検討していきたい。

### 有害鳥獣被害防止対策 について

中川賢一

**問** 有害鳥獣による農作物への被害が多発している中、防止対策としては、檻による捕獲が最重要であると考えます。現在、イノシシ用捕獲檻の設置期間は七月下旬から九月末までであるが、狩猟期間までの延長はできないか。

**答** 設置期間は、主に水稲の被害防止を図るため、県の有害鳥獣実施要綱に基づき、最も効果的に有害獣を捕獲できる時期に設定されている。期間の延長については、猟友会、農家の方と相談しながら検討していきたい。

## 市民生活

### ISO14001の今後の取り組みについて

小谷康文

**問** ISO14001（\*4）について、更新審査を取

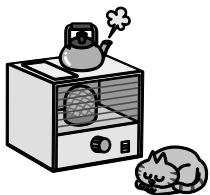
りやめる自治体が増えてきたが、本市はどうするのか。環境基本計画を柱とし、PDCA(Plan-計画、Do-実施、Check-監視、Action-改善)を回しながらの活動にかえてもよいのではないかと。

**答** 来年三月の更新は行わない。今後は、維持経費をかけずに、蓄積したノウハウを生かした効果的なシステムへの見直しを行うとともに、環境マネジメントシステムの維持を続けることで成果を得ていきたいと考えている。

### \*4 ISO14001

国際標準化機構が1996年に発行した、組織(企業・自治体など)に対して環境負荷をかけない事業活動を継続して行うように求めた規格。

審査や更新の手数料など、経費が高額なことから、自治体では更新審査を受けずに認証を返上するケースも相次いでいる。



## 福祉

### 国民健康保険財政の今後の展望について

木下章

**問** 市町村が保険者となって運営されている国民健康保険の財政状況は、医療費に対する給付額の増加と滞納額の増加などから厳しい状況であるが、何らかの対策は。

また、出産育児一時金の受取代理人制の導入は。

**答** 七十五歳以上の高齢者は、平成二十年度から後期高齢者医療制度へ移行される。そのため、国保税の算定については、国民健康保険の医療分、後期高齢者医療保険の支援分、四十歳から六十四歳までの被保険者が担っている介護分を含め、県下各市とも連携を取りながら検討をしていかなければならないと考えている。

また、出産育児一時金の受取代理人制については、来年四月から実施に向け準備を進めている。

### 医療費の助成制度について

木下 章

**問** 市の条例に基づき医療費の無料化が実施されているが、いずれも立てかえ払いに対する償還払い制である。窓口無料化に対する国のペナルティー廃止に向けた要望活動の現状及び子育て支援を含めた市単独事業の展望は。

**答** 窓口無料化に伴う国庫負担金の減額算定措置廃止については、全国市長会を通じ、十一月二十九日に関係省庁に要望したところである。

しかし現状では、減額算定措置により、国庫負担金が五千万円ほど減らされることになり、財政上、非常に厳しいことから、本市独自の窓口無料化については、国の制度の改善後に取り組んでいきたい。



## 教育

### 小中学校におけるいじめの問題について

岡 武彦

**問** いじめが原因による児童生徒の自殺者が多数出ているが、市内の小中学校における、過去二年間のいじめの件数とその内容及び敦賀市独自の解決策は。また、県が行った実態調査の結果について伺う。

**答** 平成十六、十七年度の二年間で十七件発生しており、市としては、相談しやすい環境づくり、いじめが発生したと思われるときの迅速な対応がいかにあるべきかについて、現在、協議している。また、実態調査については、県の動向を待ち、それに応じて対応したい。

### 現状の教育問題について

高野 新一

**問** 市内の小中学校で調査及び対策はどのようになっているのか。また、小

中学校におけるIT教育の問題点及び対策はどのようなになっているのか。

**答** 退職されたベテラを回することで状況の把握に努めており、小さなトラブルについても、電話などを通じて学校から知らせていただいている。

また、ブログ(\*5)などインターネットから始まるいじめなど、その危うさについても授業に取り入れるなどしている。

\*5 ブログ  
Weblog (ウェブログ)の略。インターネットを通じて、日記や自分の意見などを自由に書いたホームページ全般。  
総務省によると、昨年9月現在、800万人以上が登録しているとのこと。

### いじめ問題における教育について

常岡 大三郎

**問** いじめによる自殺者が続発し、世間を騒がせている。政府は、教育再生会議の提言を受けて対策に本腰を入れ、他市では、いじめ対策課の設置、カウンセラーの配置などを

行っているが、本市ではどのような対策を行うのか。

**答** 担任と生徒が、日記形式の個人ノートを交換したり、できる限り子供と一緒に過ごす時間を多く持てるような体制づくりに取り組んでいる。また、相談投書箱を設けている学校もあり、今後、さらに充実させていきたい。

### 少人数学級について

上原 修一

**問** 全国の至るところで少人数学級が実施されており、学力向上にも社会性を身につける上でも、大きな効果が得られるとのことである。市としても少人数学級の実現に向けた取り組みを、県に対し早急に要請すべきではないか。

**答** 県の元氣福井っ子笑顔プランにより、来年度から一学級当たり中学校一年生が三十人、小学校六年生、中学校二、三年生が三十六人となる。

市としても、独自に学校支援員、教科等支援員、図書館

支援員を配置し、きめ細やかな教育に努めている。



### グラウンドゴルフ施設の整備充実について

小谷 康文

**問** グラウンドゴルフは、健康にもよいと言われ、年々愛好者もふえていく。十二月補正予算で備品購入費が計上されたが、健康で生き生きと老後を過ごせるよう、さらなる施設の充実を進めることはできないか。

**答** 財政上、直ちに専用球場をつくることは困難であるため、何とか今ある施設を利用していただきたい。

なお、子供からお年寄りまでがニュースポーツなどを楽しめる総合的な施設整備ができるか、今後のあり方、課題を協議する検討委員会等を、来年度に設置したいと考えている。

### 四年間の市政の主な実績について



**問** 公民館の人事について、北、南、西、東郷の各公民館へ民間館長を登用してきたが、今後の流れとしても順次、民間人を登用していくとの方針であるのか。

籠 一 郎

平成十九年度には東浦、中郷公民館に、平成二十年度までにはすべての公民館に民間館長を登用する予定である。

**答** 平成十九年度には東浦、中郷公民館に、平成二十年度までにはすべての公民館に民間館長を登用する予定である。

### ニート並びに若者のひきこもり対策について

**問** 昨年スタートしたミニジョブカフェの内容及び実績は。

河 端 満

また、国庫補助は今年度限りとのことだが、来年度の継続実施は。

さらに、不登校の小中学生を対象としているハートフルスクールにおいて、ニートの受け入れはできないか伺う。

**答** おおむね三十五歳未満の若い方を対象としたキャリアアカウンセリング、職業の適正診断を行うっており、今年度の利用者は十一月現在で百六十九人、そのうち就職者は十名となつてゐる。本事業については、次年度からも県により継続される予定である。

また、ハートフルスクールは、義務教育を受けている児童・生徒を対象としており、現時点では、ニート対策を行うことは困難である。

### こどもの国のあり方について

**問** こどもの国は、築後三十年を経過しようとしているが、今後どのような活用を考えているのか。

高 野 新 一

プラネタリウムを含め、施設全体の補修を行い、子供たちに夢や希望を与えられる施設にすべきではないか。

**答** 財政上、施設の全面改修は難しいため、当面は維持管理していくことで対応したい。将来的に

は、遊具施設などのある運動公園と統合して管理する方法も含め研究していきたい。



プラネタリウム

## 建設

### 都市計画の推進と選択について

増 田 一 司

**問** 都市計画マスタープランが制定され、関係条例が施行される直前に、報道などで大型レジャー施設や商業施設の出店構想が市民に知らされた。市長は議会に対し、事前に説明する必要があると思ふ

**答** 大型レジャー施設の件については、起業家の方と会ったことはない。また、大型ショッピングセンターについては、六月上旬に土地所有者から出店計画の報告を受けている。

が、計画についてはいつ聞いたのか。



### 一般質問項目

- 21 クレジットカード納付について
- 22 現状の教育問題について
- 23 「こどもの国」のあり方について
- 24 義務教育時の医療費の無料化について
- 25 いじめ問題における教育について
- 26 法定外税について
- 27 乳がん検診車の導入について
- 28 選挙ポスターの公費負担の見直しについて
- 29 木崎地区総合レジャー施設について
- 30 寺内タケシコンサートについて
- 31 教育基本法について
- 32 少人数学級について
- 33 原発問題(プルサーマル計画)について
- 34 原発防災(ヨウ素剤の配備)について
- 35 公共工事の入札について
- 36 人口減少時代のまち・現在の敦賀市について
  - (1) 各マスタープラン
  - (2) 4年間の市政の主な実績
- 37 敦賀市の財政について
- 38 敦賀市の幹線道路の整備について
- 39 中池見の今後の運営について
- 40 中心市街地活性化について
- 41 スケートパークについて
- 42 ニート並びに若者のひきこもり対策について
- 43 景観作物の植栽について
- 44 有害鳥獣被害防止対策について
- 45 J R直流化開業後の課題について
- 46 木崎地区の今後のまちづくりの方針について
- 47 中央地区の新設について
- 48 医療費の助成制度について
- 49 国民健康保険財政の今後の展望について

\*太字の項目について、紙面で掲載しています。



### 木崎地区総合レジャー施設について

今大地晴美

**問** レジャー施設に係る許可申請等の業務を一任されている市内の業者と敦賀市長はつながりがあるとのことだが、その間柄でなぜ、許可申請書をとめられなかったのか。

**答** ボウリング場を何とかという声もある中、施設自体は決して悪いものではないが、地区の特性を考えると、できればほかの場所での気持ちはある。

しかし、法的な諸問題で訴訟となり、逆に市民に迷惑をかけることは無責任であるとの観点から、やむを得ず県に届け出をしたものである。

### 冬期間の国道等渋滞情報について

平川 幹夫

**問** 国土交通省、警察など連携を図り、RCNデータ放送を利用した情報の伝達ができないか。

また、民間によるコミュニティFM(\*6)放送局が開

設されるようだが、無線は災害、道路情報の伝達に最適であり、市として支援することは考えているのか。

**答** 冬期間の国道の渋滞情報については、市のホームページ、RCNの防災放送チャンネルなどで提供しているが、今後とも関係機関と連絡を密にし、RCNデータ放送を活用した情報提供も行いたい。また、コミュニティFM放送局への出資は難しいが、まちづくり関連番組などへの協力は行いたい。

#### \*6 コミュニティFM

市町村等の一定区域において行政、福祉、観光等の地域に密着した情報の提供を通じて、その地域の振興、その他公共サービスの増進に寄与することを目的として、平成4年に制度化された超短波(FM)放送。

### 国道八号の整備について

美尾谷 幸雄

**問** 国道八号敦賀バイパス開通後、現国道八号は県道に払い下げられると考えられるが、道路の拡幅、歩道の新設、融雪施設の設置などについては、県が引き継ぐのか。

また、赤崎地区から杉津地区までのバイパス計画の見直しは。

**答** 現国道八号が県道へ移管されれば、現在まで要望、提言してきた事項については、当然、移管される道路管理者に引き継がれると考えている。

また、東浦バイパス計画については、毎年、要望を行っているが、敦賀バイパス完成後は、特に東浦バイパスの整備を重点に置き、

**一般質問項目**

- 1 第4次行政改革と市民の暮らしへの影響について
- 2 いじめ問題の現状と対策について
- 3 日本原電3、4号機増設の延期について
- 4 これからのまちとまちづくりについて
  - (1) 都市計画の推進と選択
  - (2) 中心市街地の活性化
  - (3) 新快速電車乗り入れへの対応
- 5 小中学校におけるいじめの問題について
- 6 自衛隊の誘致について
- 7 団塊世代退職後に対する市の施策について
- 8 地域間の均衡のとれた施策について
  - (1) 汚水処理施設整備の基本計画
  - (2) 屋根の融雪設備補助金制度
  - (3) 冬期間の国道等渋滞情報
- 9 国道161号疋田トンネル拡幅について
- 10 国道8号の整備について
- 11 観光振興策と遊敦塾について
- 12 ISO14001の今後の取り組みについて
- 13 グラウンドゴルフ施設の整備充実について
- 14 日本原電3、4号機の運転開始遅れについて
- 15 公共下水道と合併浄化槽について
- 16 敦賀きらめき温泉リラ・ポートについて
- 17 入札について
- 18 港町敦賀をロシアとの交易の拠点とすることについて
- 19 市政運営について
  - (1) 市政運営
  - (2) 組織運営
  - (3) 財政運営
  - (4) 木崎の大型遊技場計画とまちづくり
- 20 生活環境保全について
  - (1) 魚腸骨の収集と運搬
  - (2) 檜曲の民間最終処分場

### 敦賀市の幹線道路の整備について

岡本 正治

**問** 国道四百七十六号は、木ノ芽峠トンネルが開通し、交通量がふえるとともに、交通死亡事故も発生しているが、完成する前の交通予想量と完成後の実際の交通量及び交通事故防止対策はどのようなことになっているのか。

より強く関係機関に要望、提言を行っていききたい。

**答** 計画時には、平成三十二年度の交通量を一日当たり四千九百八十台と予測している。実際の交通量は、平成十六年度が一日当たり千五百五十八台、十七年度が千六百六十四台となっている。

また、交通事故防止対策として、県は、減速するための舗装面のゼブラ表示、グルーピング処理などについて検討していききたいとのことである。

### 各マスタープランについて

籠 一郎

**問** 白銀町で行われている市営住宅解体後の跡地を、介護老人保健施設、集会場、グループホームを持つ老人保健施設、公営住宅建てかえ事業のシルバークロッシングなど、複合施設へ転換することについて、どのように考えているか。

**答** 跡地利用については未定だが、駅周辺であるという立地条件を考え、今後の中心市街地活性化や定住促進を視野に入れながら、現在策定中である中心市街地活性化基本計画の中で位置づけをしていきたい。

## 原子力

### 日本原電三、四号機増設の延期について

山本貴美子

**問** 本体工事の着工が二〇一〇年にずれ込み、交付金の交付開始時期が二〇〇八年からとなった

ため、市の財政計画に大きく影響するようだが、これを機会に、原発交付金を当てにした箱物行政を改めるべきではないか。

**答** 電源交付金は、市民の安全、安心だけでなく、地域経済の活性化と市民福祉の向上にも大きく貢献しており、大変重要な財源である。今後も原子力に依存するのではなく、共存共栄を図っていきたい。

### 原発防災(ヨウ素剤)の配備について

上原修一

**問** 原発事故から住民を守るためには、早期のヨウ素剤服用(\*7)が求められる。東海村などでは分散配備が実施されている中、当市においても、家庭配備や小中学校に分散配備すべきではないか。

**答** ヨウ素剤は、薬事法により医師などの指示で服用することになっており、また、適切な保管管理が求められることから、住民が避難した場所に対応する

る方法を採用していきたい。

\*7 ヨウ素剤服用

原子力施設で重大事故が発生すると、放射性ヨウ素などの放射性物質が大気中に放出され、呼吸により放射性ヨウ素は体内に吸収、甲状腺に蓄積する。そこで、放射能を持たないヨウ素を前もって摂取しておくことで、甲状腺に放射性ヨウ素が取り込まれず、放射線障害を予防することができる。

## 環境

### 魚腸骨の収集と運搬について

北條 正

**問** 本処分場は、長谷地区の集落の中心部に立地し、隣接住民は平成元年より今日に至るまで、悪臭に悩ませ続けられてきた。今後、事業者とどのように話し合いを進めるのか伺う。

**答** 本施設には、嶺南各業廃棄物が保管されていることから、四月と八月に県を交えた関係市町会議で協議を行ったが、明確な対応が見られなかったため、来年四月以降

の持ち込みはできない旨を伝えたとこである。

### 樫曲民間最終処分場について

北條 正

**問** 安全と安心の観点から、処分場から出る汚水を木の芽川下流にある上水道源と切り離し、公共下水道とつなぎ再処理することについて、九月議会以降、どのような検討がされたのか、再度伺う。

### 請願・陳情はどなたでもできます

(請願書を提出する場合)

- ▼ 紹介議員(二名以上)が必要。
- ▼ 提出期限は、定例会初日の前日の午後五時。

(陳情書を提出する場合)

- ▼ 提出期限は、告示日(定例会初日の一週間前)の前日の午後五時。
- ▼ 議会運営委員会において協議し、該当要件(\*)により請願に適合していると判断された場合、請願と同じ取り扱いとなる。(それ以外は写しを全議員に配布)

\*該当要件

- ・ 陳情者が本市に住所を有するもの。
- ・ 敦賀市又は本議会の権限に属するもの。
- ・ 公益的性格を有するもの。
- ・ その他議会運営委員会が必要と認めたもの。

詳しくは、市議会事務局まで

電話 二二一八一五七

書式例	年月日
請願(陳情)書	
敦賀市議会議長 殿	
紹介議員 (請願のみ)	○○○○○
住所	○○○○○
氏名	◇◇◇◇◇ 印
△△△△△△△について	
請願(陳情)趣旨	.....
請願(陳情)事項	.....
1	.....
2	.....

**答** 下水道法や条例に基づき排水基準をクリアするための施設建設にかかるコスト、下水管を敷設する工事費と維持管理費を比較検討した結果、処理水の放流については木の芽川など公共用水域を基本に対応するが、木の芽川が上流の涵養水源になっていることを踏まえ、雨水管への接続について検討していきたいと考えている。

# 決算認定特別委員会

## ■平成十七年度敦賀市歳入歳出決算認定の件

**問**

JR湖西線・北陸本線  
直流通利用促進事業について、どう評価したのか。

**答**

JR 駅長おすすめ駅プラン等支援事業については、来敦されたツアー客の二次アクセス支援というところで、今後も続けていきたいと考えている。

また、モニターツアー事業については、ツアー客が市内の商店街、観光地を実際に歩くことにより、商店や観光施設の方々が、どう対応したらよいか考えていただくためのものであり、受け皿づくりの一つのきっかけとなったと評価している。  
なお、モニターツアー参加者のアンケートでは、もう一度、敦賀へ行きたいとの回答が多く、今回の直流通開業に与えた影

響は大きかったと考えている。

**問**

優良賃貸住宅事業費について、第四次行政改革では市営住宅をふやすのではなく、特定優良賃貸住宅をふやす方向が示されている。平成十七年度では、高齢者向け優良賃貸住宅が十四戸建設されているが、家賃の負担が重く、特定優良賃貸住宅よりも市営住宅を求める声の方が大きいと考えるが。

**答**

特定優良賃貸住宅、高齢者向け優良賃貸住宅のいずれも、家賃補助を行っている。今後は、公営住宅ストック活用計画に基づき、トータル的に検討していきたい。

平成十八年十月三十一日、十一月一、二日に開催された決算認定特別委員会の審査内容について、紹介いたします。

## ■平成十七年度市立敦賀病院事業決算認定の件

**問**

十七年度は特に、医師の減少や診療報酬制度の改正のため、収益が減少しており、病床の利用率も、十六、十七年度と極端に低下している。もう少し鋭く切り込んだ経営分析を行う必要があるのではないか。

**答**

毎月の管理委員会において、診療科ごとの患者数などを分析し、病床利用率、入院の平均在院日数等、細かくリアルタイムに病棟管理を行い、少しでも収益増加につながるように努力している。また、医師を初めとした職員の勤務条件も考慮しながら、業績を伸ばしていきたい。

経営については、来年度外部の方を入れ、改善に向けた策を考えていきたい。

## ■平成十七年度敦賀市水道事業決算認定の件

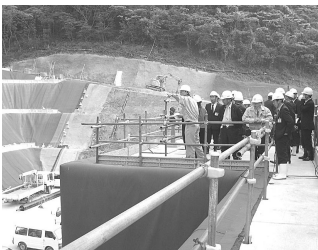
**問**

企業債の償還の見通しは。

**答**

未償還残高は約六十六億円ある。水道事業については、第七次拡張事業において、大型の事業は大体、終了しているため、今後は、起債で賄うことはそれほどないと考えている。

経営については、平成十九年度を目途に十年間のスパンで水道ビジョンを立て、取り組んでいきたいと考えている。



11月2日、最終処分場建設事業に係る工事の進捗状況について、現地視察を行いました。

## 議会あれこれ

(第二回)

今号では、議案について説明します。三頁の「審議結果一覧」と合わせてご覧ください。

議案とは・・・

議会の議決(可否等の最終決定)を経るため、市長または議員が議長に提出する案件のことで、それぞれ市長提出議案、議員提出議案と呼び、区別しています。

市長提出議案には、予算・決算に関するもの、条例の制定・改廃、助役・収入役等の選任など。議員提出議案には、意見書の提出、議会の意思を表明する決議、各議案に対する修正、委員会条例の制定などがあります。

また、予算、決算に関する議案は、市長にのみ提案権が、逆に常任、特別各委員会の設置、意見書の提出等は、議員にのみ提案権があります。

このことは、執行機関としての市、チエック機関としての議会というお互いの役割を明確に表した形といえます。

# 委員会の動き

12月定例会、各委員会で審査・調査した下記の内容については、最終日の本会議において各委員長より報告がありました。本会議での審議結果一覧については、3頁のとおりです。

## 総務常任委員会

〔所管〕 総務部、企画部、会計課、監査委員事務局、市立敦賀病院、議会事務局  
〔開催〕 十二月十三日（議事堂第四委員会室）

### 審査内容

〔議案〕 敦賀市病院事業の設置等に関する条例の一部改正の件など七件の議案について審査し、いずれも原案どおり認めることに決定しました。

〔請願・陳情〕 請願第三号 最低保障年金制度の創設を求める意見書の提出について、不採択としました。

## 産業経済常任委員会

〔所管〕 産業経済部  
〔開催〕 十二月十三日（議事堂第一委員会室）

### 審査内容

〔議案〕 水産市場用地造成工事請負契約の件など六件の議案について審査し、いずれも原案どおり認めることに決定しました。

〔請願・陳情〕 なし。

## 文教民生常任委員会

〔所管〕 市民生活部、健康福祉部、教育委員会  
〔開催〕 十二月十三日（議事堂第二委員会室）

### 審査内容

〔議案〕 敦賀市障害者医療費の助成に関する条例の一部改正の件など七件の議案について審査し、いずれも原案どおり認めることに決定しました。

〔請願・陳情〕 なし。

## 建設常任委員会

〔所管〕 建設部、水道部  
〔開催〕 十二月十三日（議事堂第三委員会室）

### 審査内容

〔議案〕 平成十八年度敦賀市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第一号）など六件の議案について審査し、いずれも原案どおり認めることに決定しました。

〔請願・陳情〕 なし。

## 原子力発電所特別委員会

〔所管〕 原子力発電所に関する事項  
〔開催〕 十二月十四日（議事堂第一委員会室）

### 調査内容

「日本原子力発電機」「日本原子力研究開発機構」「関西電力」の各発電所の運転状況や点検結果等の報告を受け、質疑応答を行いました。

## 環境保全対策特別委員会

〔所管〕 公害の防止及び排除その他の環境に関する事項  
〔開催〕 十二月十四日（議事堂第二委員会室）

### 調査内容

公共用水域水質調査結果や大気中のダイオキシン類調査結果、民間一般・産業廃棄物最終処分場等に係る状況及び調査結果等の報告を受け、質疑応答を行いました。

## 3月定例会テレビ放送のお知らせ

2日(金) 議案の説明・質疑

再放送：午後7時からの予定

7日(水)・8日(木)

### 一般質問

再放送：会期中に予定

16日(金) 委員長報告・質疑及び採決

再放送：午後7時からの予定

\*中継開始時間は午前10時を予定しています。(都合により、変更する場合があります。)

## 編集後記

今冬は雪もなく、晴天の日が何日も続いたり、例年では考えられない暖かい日が続いています。

そんな中、スキー大会が開けない、灯油や冬物衣料などの売上げが減るなど暖冬による様々な影響が報道されていますが、逆に、この陽気をうまく利用し、JR直流化後の賑わいが持続するよう願っています。

議会では、議会だよりやテレビ中継、インターネット

- 委員長 有馬 茂人
  - 副委員長 小谷 康文
  - 委員 山本 貴美子
  - 委員 高野 新一
  - 委員 今大地 晴美
  - 委員 奥本 兼義
- 電話 二二一八二五七  
電子メール gikai@ton21.ne.jp